

「DAFあらた」の運営体制

DAFあらたは、三井住友信託銀行と公益財団法人パブリックリソース財団の協働によって運営されています。両者によって構成される評議委員会が、DAFあらたのガバナンスを担当します。



DAFあらたにご寄付いただいた資金は公益財団法人パブリックリソース財団が保有・管理し、三井住友信託銀行が取り扱う投資信託により運用されます。運用された資金は、公益財団法人パブリックリソース財団が寄付者が表明した意向を元に支援先団体に助成します。DAFあらたのご利用にあたっては、所定の手数料がかかります。詳細はお問合せください。

三井住友信託銀行について



三井住友信託銀行は、人生100年時代に対応した「ファイナンシャル・ウェルビーイング」の実現を目指し、資産運用、資産管理、相続、不動産などの多様なニーズに応える総合コンサルティングを提供しています。ライフステージに応じた最適なソリューションを提案することで、安心で豊かな未来の実現をサポートしています。

<https://www.smtb.jp/>

公益財団法人パブリックリソース財団について



「意志ある寄付で社会を変える」をミッションとして社会貢献を志す市民や企業からのご寄付をもとに寄付の仕組みづくりに取り組む、内閣府に認定された公益財団法人。これまでに50以上の「オリジナル基金®」を創設し、医療、福祉、子ども、生活困窮者、環境保全、文化・芸術・スポーツなど、幅広い団体や個人への支援を行っている。

<https://www.public.or.jp>

DAFの歴史

ドナー・アドバイズド・ファンド (DAF) は、米国で100年近い歴史をもつ寄付の方式です。1990年代から富裕層を中心に認知度が高まりました。現在では、その仕組みは大手金融機関や財団によって運営され、2023年時点で総資産は約37兆円となり、約180万の基金が存在しています。様々な社会課題が存在する米国において、その解決を政府に委ねるのではなく市民が解決するための手段としてDAFは重要な役割を担っています。現在、DAFは米国だけではなく、カナダやイギリスでも重要な寄付の手法として展開されています。



▶ 運営事務局
公益財団法人パブリックリソース財団
〒104-0042 東京都中央区入船2丁目3-6 細矢ビル3階
TEL:03-5540-6256

DAFあらた特設サイト
<https://www.daf-arata.public.or.jp>
第1版:2026年1月発行



大切な資産を運用しながら、
社会の未来づくりに確実につなげる
寄付のかたち



パブリックリソース財団
ドナー・アドバイズド・ファンド

DAFあらた

Donor-Advised Fund "ARATA"

「DAFあらた」は、三井住友信託銀行と公益財団法人パブリックリソース財団との協働運営による日本初*の「日本型ドナー・アドバイズド・ファンド」＝「運用×セレクト型オリジナル基金」。

寄付適格認証団体リストから、寄付者の希望に沿って、社会的インパクトを生む団体を指定できる唯一の寄付の形です。

*パブリックリソース財団調べ

財産を相続した時

愛する家族を記念するために、
家族のレガシーを次世代に残したい

自分の財産を
社会貢献に活用したいと考える時

次世代にむけた事業承継を考える時

会社の周年記念事業を検討する時

公益財団法人を作るかわりに

DAFあらた
Donor-Advised Fund "ARATA"

「DAFあらた」を使うメリット

寄付は税制優遇の対象となります

DAFあらたへの寄付は公益財団法人パブリックリソース財団への寄付になるため、税制上の優遇（所得税・相続税・法人税など）を受けることができます。詳しくは税理士等にご相談ください。

オンリーワンの「基金」をつくれます

ご寄付は寄付者ごとの「基金」として管理されます。ご希望に応じて、「〇〇メモリアル基金」というように、ご寄付の趣旨やご遺志などを反映するオリジナルなネーミングが可能です。

希望に沿った支援先を決められます

ご寄付を使ってどの団体、どのプロジェクトを支援するかをすぐ決める必要はありません。じっくり時間をかけて支援する団体を選び、複数年にわたり、また複数の団体を支援することもできます。

持続性ある寄付が実現できます

設置した基金は、長い年月をかけて育てることができます。世代を超えて基金を持続させるべく、寄付金を追加したり、基金の承継者を指名することもできます。

運用益も社会のために活用できます

基金は、三井住友信託銀行が取り扱う投資信託により運用され、元本と運用益の両方を支援先団体への支援（助成）に充てることができます。

「DAFあらた」のしくみ



寄付をする

- 500万円以上からDAFあらたで基金を創設することができます
- 基金には任意の名前をつけることができます
- 寄付は税制優遇の対象となります



運用する

- 基金は、三井住友信託銀行が取り扱う投資信託により運用されていきます
- 運用状況は定期的にパブリックリソース財団よりお知らせします



支援する

- 寄付者は支援したい団体や助成金額について、意向を表明することができます
- 複数年にわたって複数の団体を支援することもできます

DAFあらたは、多様なニーズに応えられる、オリジナル基金®です



“相続した遺産で、故人の遺志を実現するような基金を作りたい”



“まずは税務手続きを完結させ、その後に運用状況を見ながら、じっくりと支援する団体を選びたい”



“自分の死後も永く社会貢献を続けたい。承継される基金がいい”

支援の対象となる団体について

DAFあらたの基金を使って支援できる対象は、下記の7つのテーマ領域にまたがる14団体となります（2026年1月時点）。団体の規模や知名度にとらわれず、社会課題の最前線で、真に必要とされる支援に取り組む団体をパブリックリソース財団が運用する「寄付適格認証団体データベース」の中から厳選しています。行政も企業も取り組みづらい社会課題や、社会の中でも光が当たりにくい領域に眼差しを向け、7つのテーマを取り上げています。寄付者の皆様からのご寄付は「意志ある寄付」として、持続可能な社会づくりを支えています。

ご寄付にあたっては、下記のテーマおよび各テーマに取り組む団体の中から支援先を寄付者ご自身が選ぶことができます。寄付者には定期的に支援先団体の活動成果についてご報告させていただきます。



パブリックリソース財団では、寄付適格認証を行い団体・プロジェクトを登録する「寄付適格認証団体データベース」を運用しています。2024年度末時点で、認証を受けた253団体・312プロジェクトが掲載されています。

子どもの貧困の連鎖を止める



親世代の貧困が子ども世代に受け継がれてしまわないよう、食支援、学習支援、居場所、専門的支援への連携などにより、一人ひとりの成長の芽、自立の可能性を伸ばし、貧困の連鎖を防ぐための支援が必要です。

虐待を受けた子どもを救う



家庭の事情や親からの虐待により、家族から離れざるを得なくなり、社会的に孤立してしまう子どもたちが安心して避難できるシェルターや、児童養護施設等を退所後の若者の居場所の充実が求められています。

難病の子ども、医療的ケア児とその家族を守る



難病や重い障害の子ども、医療的ケア児を対象としたケア、学習支援などとともに、その家族が孤立せず、社会の中で支えられながら暮らせる支援が求められています。

芸術活動と就労で障がい者の自立援助



障がいをもった人が自立して、自分らしく生きられる環境づくりは、仕事づくり、住まいづくり、さらには地域づくりとの連携など多岐に渡り、社会全体として整えていく必要があります。

ジェンダー平等とDV救援



政治参画や経済的機会などにおける男女格差という課題への対応が求められています。また、家庭内暴力や性暴力など、ジェンダーに起因する被害を受けた女性への支援が重要です。

生態系・生物多様性の保全、若者による環境保全



生態系の保全、生物多様性の保持、森林の保全などを通じて、次世代を含めて、地球環境と人類・生物の共生と持続可能性を確保する社会の実現につなげる活動が求められています。

マイノリティと共生する社会



外国ルーツの子どもの教育支援、LGBTQの人権擁護など、さまざまな国にルーツをもつ人や様々な性的指向・性自認のある人たちが、人間としての尊厳を守られ、安心して自分らしく生きられる社会の整備が求められています。

※支援テーマや団体は今後、自然災害救助、教育など、社会情勢に応じて追加していく予定です。

※掲げたテーマ以外への支援を希望される場合は、ご相談下さい。